

科目コード: 1100

科目名 幼保1年 専門科目

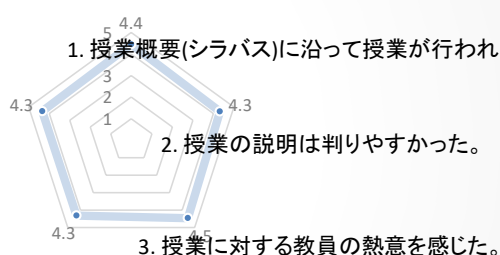
回答者数: 1142 名

設問Ⅰ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	604	445	93	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	559	420	137	23	3	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	643	393	100	6	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	541	439	153	9	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	567	428	124	16	7	4.3
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～

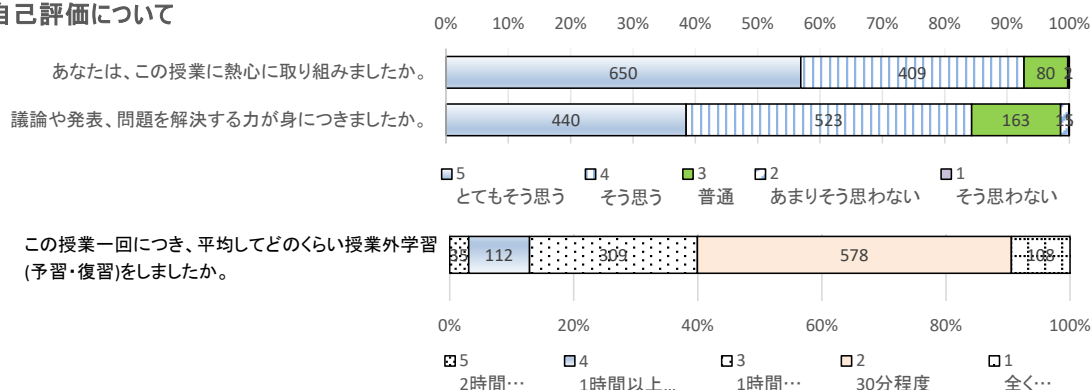
この授業を受講したことによって、5.
この分野の学びを深めたいと思った。

質疑や課題に対するフィードバックが
4. あった。



設問Ⅱ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	650	409	80	2	1	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	440	523	163	15	1	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	35	112	309	578	108	2.5

2. 学習に対する自己評価について



科目コード: 1101

科目名 教育原理

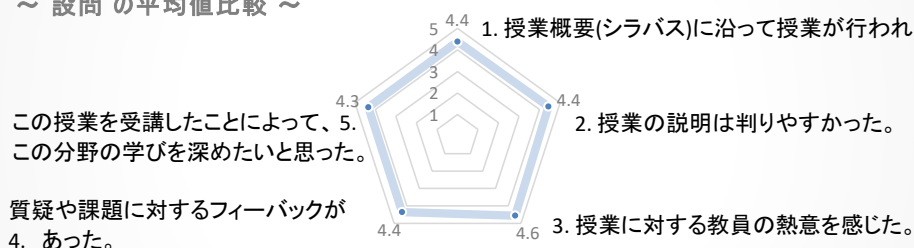
回答者数: 125 名

学科・学年: 幼1年 授業形態: 講義

担当者 倉澤俊夫

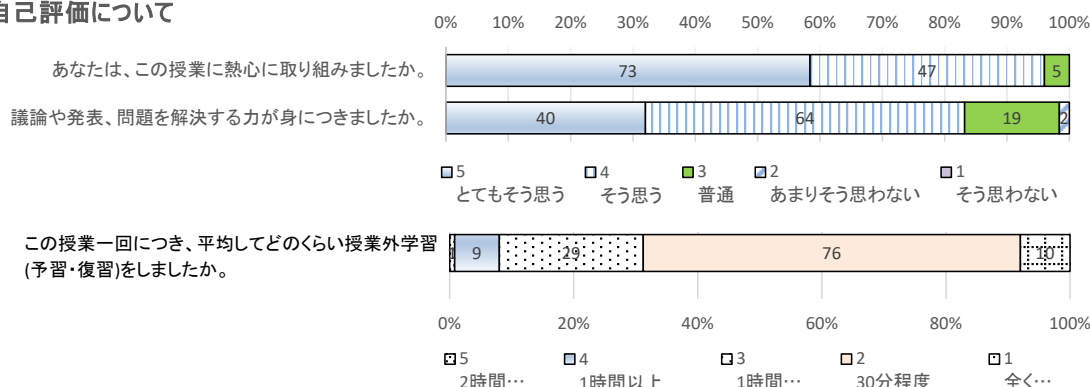
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	61	51	13	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	62	55	8	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	75	45	5	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	58	55	11	1	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	58	54	12	0	1	4.3
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	73	47	5	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	40	64	19	2	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	9	29	76	10	2.3

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

「教育原理」を学ぶことの楽しさ、意義を理解してもらうために、一時間一時間の講義内容をパワーポイントを使って作成し、講義資料の改善に努めた結果、概ね良好な評価を得られたと考えられる。また、講義内容の定着化を図るために、毎回、講義内容の振り返りのための小テストを実施した。小テストの実施による学習内容の定着化は、学生の自由記述から有効であったと考えられる。今後も、楽しく学べる「教育原理」の講義内容の改善に努めていきたい。

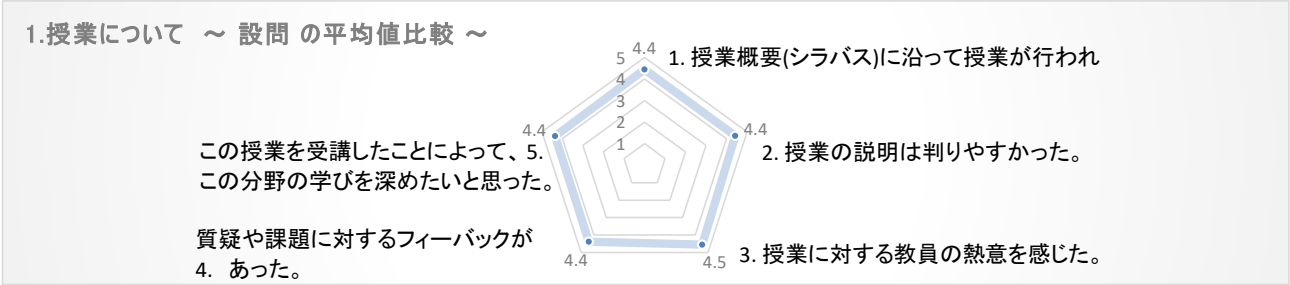
設問 I 「(2) 授業の説明はわかりやすかったか。」については、「とてもそう思う」「そう思う」と回答する学生が112名、「授業に対する教員の熱意を感じた」については、「とてもそう思う」「そう思う」と回答する学生が120名と多く、幼児教育の基本的な内容を学ぶ「教育原理」の講義については評価されていたと考えられる。

②課題と展望(授業改善方策)

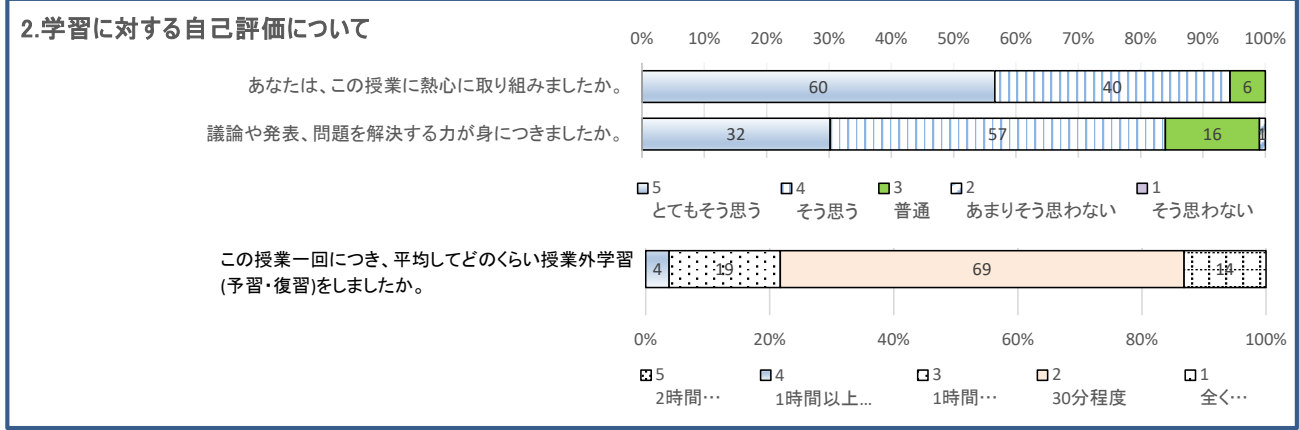
わかりやすい講義内容にするために、今後も、パワーポイントの講義資料を「学生の振り返りの小テストの内容」を加味し、更なる改善に努めて行きたい。

学生の発表力の向上のために、意見交換等の話し合い活動をさらに取り入れていきたい。

設問Ⅰ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	52	49	5	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	51	49	6	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	60	44	2	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	49	49	8	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	48	50	7	0	1	4.4
総平均							4.4



設問Ⅱ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	60	40	6	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	32	57	16	1	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間未 満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	4	19	69	14	2.1



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

「保育原理」は、学生が保育を学ぶ上で最も基本的な内容を学ぶ時間である。保育に関する基本的な内容を楽しく学ぶためには、講義内容、指導方法の工夫改善が必要である。そのために、毎回、自作のパワーポイントの資料を作成し、講義資料の工夫改善に努めた結果、概ね良好な評価を得ることができた。

また、毎時間の小テストの実施による学習内容の定着化は、学生の自由記述から見ると、有効であったと考えられる。今後も、楽しく学べる「保育原理」の講義内容の工夫、改善に努めて行きたい。

設問Ⅰ「(2)授業の説明はわかりやすかったか。」については、「とても思う」「そう思う」と回答する学生が101名、「授業に対する教員の熱意を感じた」については、「とても思う」「そう思う」と回答する学生が100名と多く、保育の基本的な内容を学ぶ「保育原理」の講義については評価されていたと考えられる。

②課題と展望(授業改善方策)

今後も、わかりやすい講義内容をめざし、授業アンケートを活用し、学生の要望に応えるように、講義内容の工夫、改善を目指していきたい。

学生のプレゼンテーション能力を向上させるために、学生同士の意見交換、話し合い活動を適時適切に行っていきたい。

毎回の講義の中での小テストは学力の定着化を図る上で有効であったことから、今後も継続して実施するとともに、記述する内容にも工夫改善を行い、学びの軌跡がわかるようにしていきたい。

科目コード: 1103

科目名 社会福祉概論

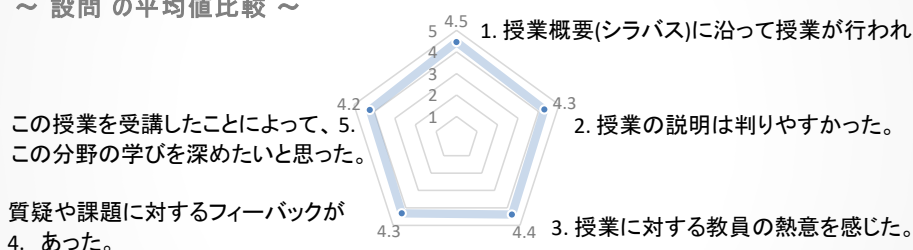
回答者数: 85 名

学科・学年: 幼1年 授業形態: 講義

担当者 田中久子

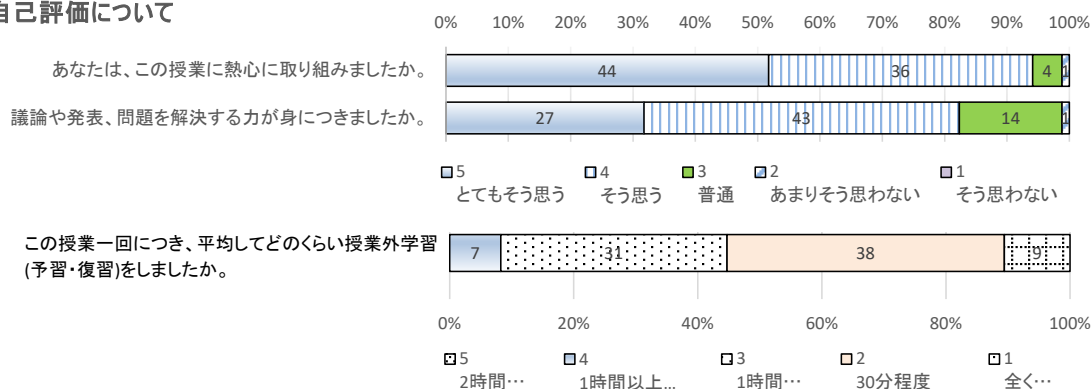
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	46	32	7	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	38	34	12	1	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	41	35	9	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	37	37	11	0	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	37	34	11	2	1	4.2
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	44	36	4	1	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	27	43	14	1	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	7	31	38	9	2.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

新型コロナ感染防止対策により、授業時間が短縮されたため、レポート課題が多くなり、学生にはかなりの負担となったと思われる。在宅での学習の習慣がある学生は、予習復習に取り組めており、理解度も高い。しかし、授業外学習時間を「全くしていない～30分程度」が47名もいるという結果に対しては今後の改善が必須である、と考察された。

設問Ⅰの(5)「この分野の学びを深めたいと思った」の問いに「とてもそう思う」「そう思う」と答えた学生が71名もいることは、課題の取り組み、及び授業の効果があったと評価できる。

②課題と展望(授業改善方策)

学習は、予習復習があつてこそ理解の定着が図られる。いかに時間外の学習を興味を持って取り組むことができるかが鍵である。課題は、学生にとって身近で馴染みやすい内容にする必要があると思われる。

また、授業は学生の興味を持続させるために一方的でなく、学生同士が議論をやり取りできる内容にすることが今後の課題である。

科目コード: 1104

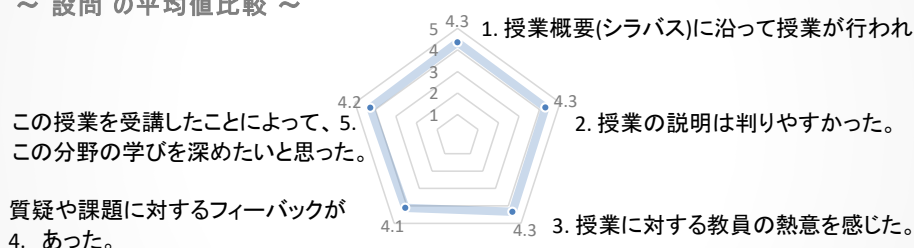
科目名 教育心理学

回答者数: 66 名

学科・学年: 幼1年 授業形態: 講義 担当者 高橋淳一郎

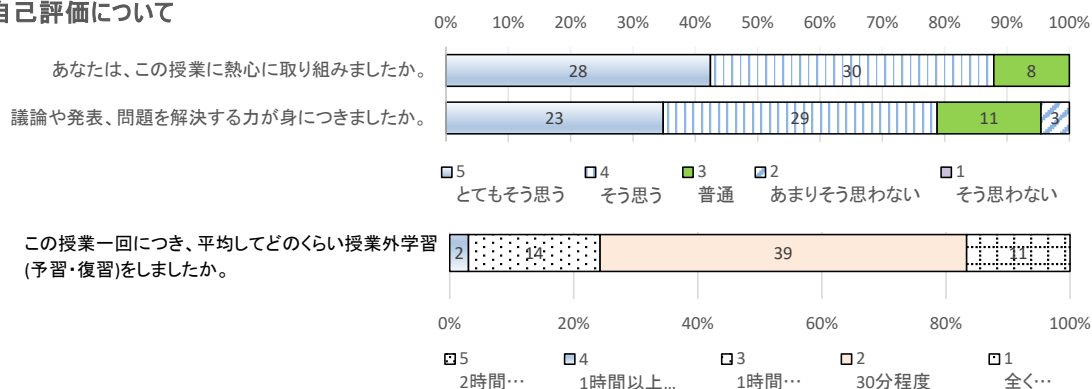
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	31	27	8	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	30	26	9	1	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	29	31	5	1	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	25	24	16	1	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	30	25	8	3	0	4.2
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	28	30	8	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	23	29	11	3	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	2	14	39	11	2.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

新型コロナの影響で授業時間が60分となり、学生同士の話し合いも基本的にできない状況で、課題のフィードバックや議論等の能力向上には結びつきにくい環境にあったことが、本アンケートから読み取ることができる。授業時間外の学習については30分程度という回答が一番多くっており、30分課題以外に予習復習をしていない学生が多いこともわかる。

②課題と展望(授業改善方策)

90分授業となれば課題のフィードバックなど十分に時間が取れるので、授業時間が戻ることを期待したい。同様に学生同士の話し合いも多様な考えに触れ学びを促進する効果があるので、授業環境が戻ることを期待したい。ただし、来年もこの前期と同様の授業形態となる可能性が排除できないので、課題のフィードバックについては配布物やteamsの活用などを考えたい。予習復習についても30分課題を上手に活用する手段を考えたい。

科目コード: 1105

科目名 子どもの保健

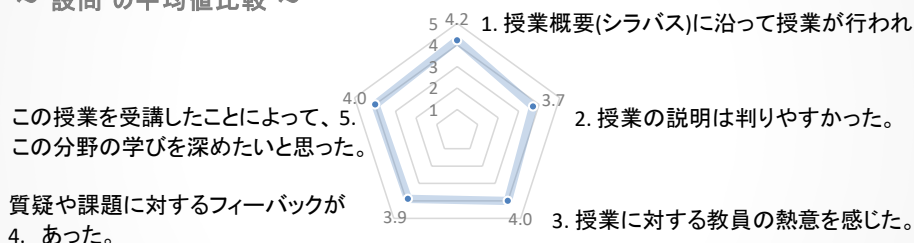
回答者数: 65 名

学科・学年: 幼1年 授業形態: 講義

担当者 吉田幸子

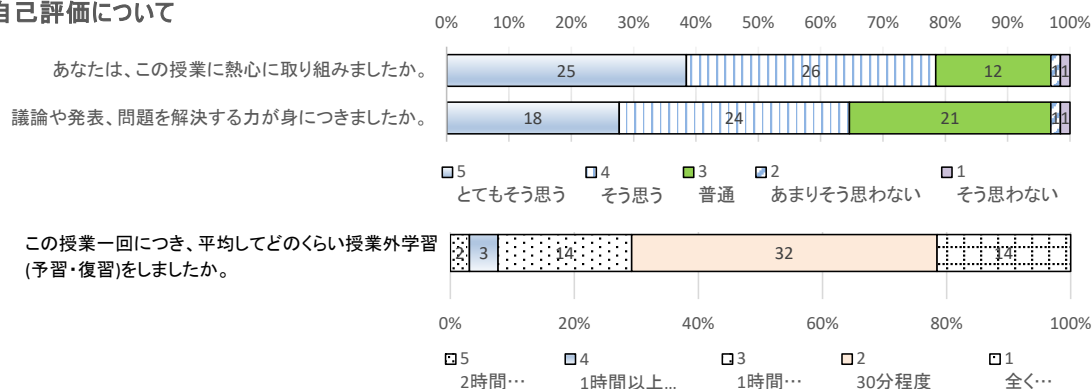
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	24	31	10	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	20	17	19	7	2	3.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	21	25	17	2	0	4.0
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	19	22	21	3	0	3.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	20	27	15	3	0	4.0
総平均							4.0

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	25	26	12	1	1	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	18	24	21	1	1	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	3	14	32	14	2.2

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

コロナ禍での学習は大変努力が必要だったと思います。皆さんがどのくらい理解できたかどうか少々不安でしたが、一生懸命に学習している様子を見て安心しています。時にはおしゃべりが目立つこともあり、叱ったりしました。また、熱心に終了後も質問して下さりありがとうございました。

②課題と展望(授業改善方策)

学生自身で考える力を教育するためにはどのようにしたら良いかを考えています。全員が集中して学習できるようにアクティブラーニングをさらに強化して行きます。

科目コード: 1106

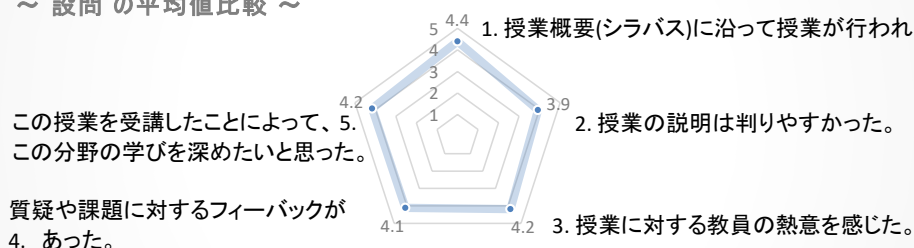
科目名 健康

回答者数: 94 名

学科・学年: 幼1年 授業形態: 演習 担当者 佐野ゆかり

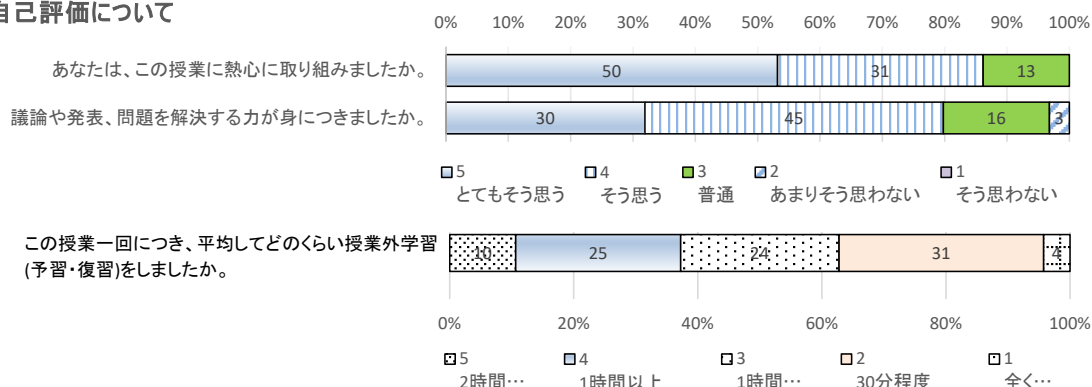
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	44	43	7	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	31	34	21	7	1	3.9
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	35	42	16	1	0	4.2
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	34	39	19	2	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	35	41	16	2	0	4.2
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	50	31	13	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	30	45	16	3	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	10	25	24	31	4	3.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

設問Ⅰの各項目について令和元年度、2年度の結果と比較すると、今年度は元年度と2年度の間の値であった。大部分は4点台であったので平均的であったように感じる。唯一「授業の説明はわかりやすかった」が「3.9」であり、回答者94名中8名にとってはやや難しかったようである。毎回の「予習課題」と「反転授業」は、学習内容をよく理解するのに効果的であったと考える。設問Ⅱの(3)時間外学習は「3.1」であり、平均して1時間程度の学習であった。本科目は1単位の演習科目なので、「単位制度」からみれば、「30分課題」の他に1時間の自己学修(計1時間半)が必要であるが、幼保1年専門科目の平均「2.5」に比べれば、あるべき姿に少しは近づけることができたように思う。

②課題と展望(授業改善方策)

新型コロナウイルス対策で、授業が60分に短縮になり、グループワークや体験型授業をほとんどすることができず残念であった。感染が収束するようであれば、もっと組み入れたいと考えている。収束せず短縮授業と30分課題が継続するのであれば、課題への取り組み方や「単位制度」に関して、学生にわかりやすく説明したい。

科目コード: 1107

科目名: 人間関係

回答者数:

63

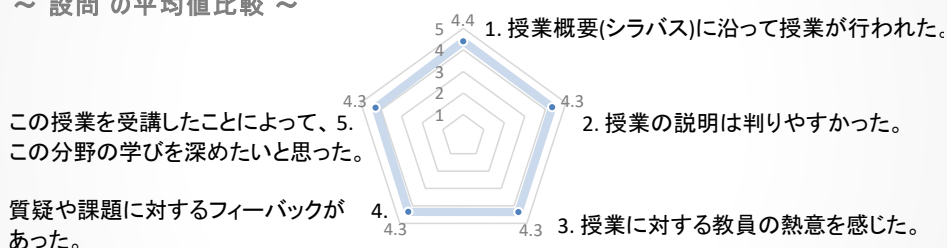
名

学科・学年: 幼1年 授業形態: 演習

担当者: 友澤加代

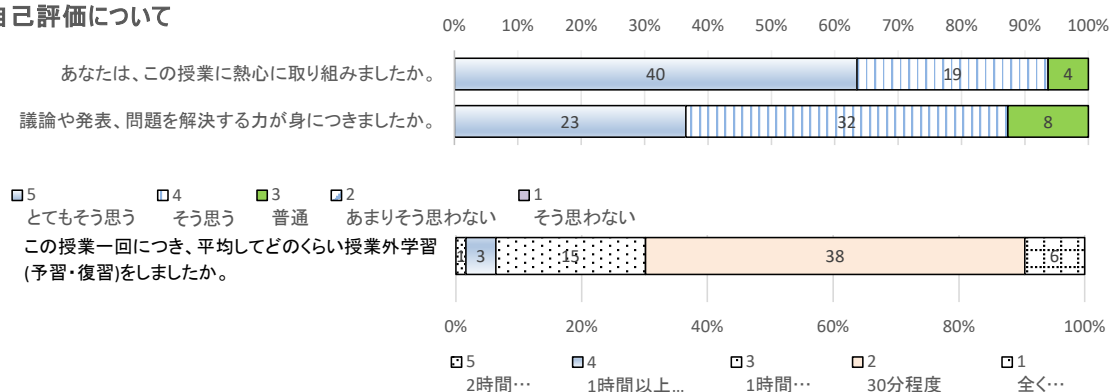
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わな い	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	31	26	6	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	29	26	8	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	31	24	7	1	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	30	24	9	0	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	29	22	12	0	0	4.3
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わな い	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	40	19	4	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	23	32	8	0	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業外学習(予習・復習)をしましたか。	1	3	15	38	6	2.3

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

全体集計と比較して、軒並み平均的な結果になった。1年目の結果としてはまずまずの結果であるように思っている。熱意の項目に関して、平均を下回ってしまったのが、私としては意外な結果ではあったが、講義の際の伝え方等、今後工夫の余地はあるように感じている。

②課題と展望(授業改善方策)

伝え方に関しては、これまでの職業上の経験を交えながら、話す内容を整理していく必要があるように感じた。

話し方を含めて、熱意はわりと伝わりやすいように思っていたので、自分自身の持つ雰囲気を含めて、見直していきたい。

担当1年目のあらたな科目ということで、全体的な展開の把握が不十分な面があったが、次年度以降は計画立った立案ができると思う。

パワーポイントや配布プリントといった講義資料については、更に修正を加えていきたい。

科目コード: 1108

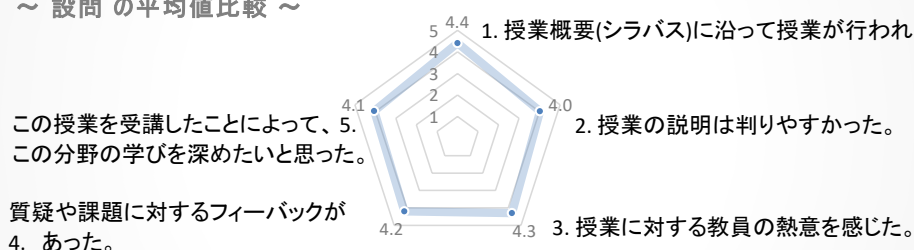
科目名 環境

回答者数: 88 名

学科・学年: 幼1年 授業形態: 演習 担当者 清水 誠

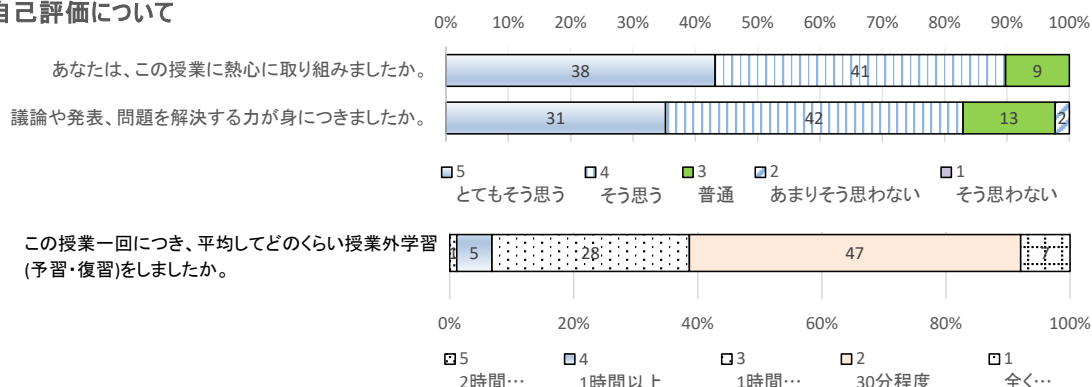
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	46	32	10	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	31	32	21	4	0	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	42	31	14	1	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	35	36	16	1	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	29	40	15	3	1	4.1
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	38	41	9	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	31	42	13	2	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	5	28	47	7	2.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

設問1(2)の数値が4.0と低い。学生の「大事なポイントなど赤や青で示してくれて分かりやすかったです。」や「授業の初めに、前回の授業の復習をやってくれていたの、すごくわかりやすかったです。振り返りシートも毎回コメントをくれて、やる気ができました。」等のコメントをふまえ、さらに学生の学びを育む指導の手立てとメタ認知を図れる方法の改善を図っていく必要がある。設問1(5)についても数値が4.1と低い。この分野の学びを深めたいにつなげる方策は重要である。わかったからやってみたくて学生の意欲喚起ができる方法を検討する必要がある。

②課題と展望(授業改善方策)

学生から「一つ一つの授業の中でのねらいや保育者の工夫など丁寧に説明してくださったのでとてもよく分かりました。プリントもとても分かりやすくフィードバックされていたので見やすく勉強しやすかったです。」等のコメントをもらっている。うれしいことではあるが、学生にとって、わかりやすい授業とは何かを探り、改善を図っていききたい。また、学生のコメント「授業で自分たちで遊びを考えてそれを体験することでたくさんの力を身につけられたと思いました。保育の現場で生かせるのでとてもよかったです。」を踏まえ、この分野の学びを深めたいにつなげる方策を考えていききたい。今回は、OPPAシートを活用しメタ認知を育む振り返りシートの工夫を行った。授業では、学生が主体となって問題を発見する授業を行ってきた。学生一人一人が、子ども達の成長を育むことができるプロの保育者になれるよう授業の見直しを日々検討していききたい。

科目コード: 1109

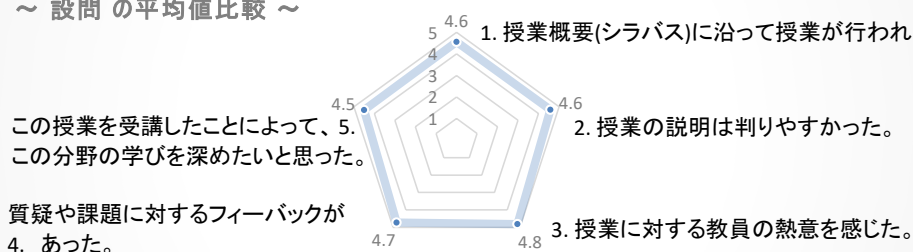
科目名 言葉

回答者数: 113 名

学科・学年: 幼1年 授業形態: 演習 担当者 中村敏男

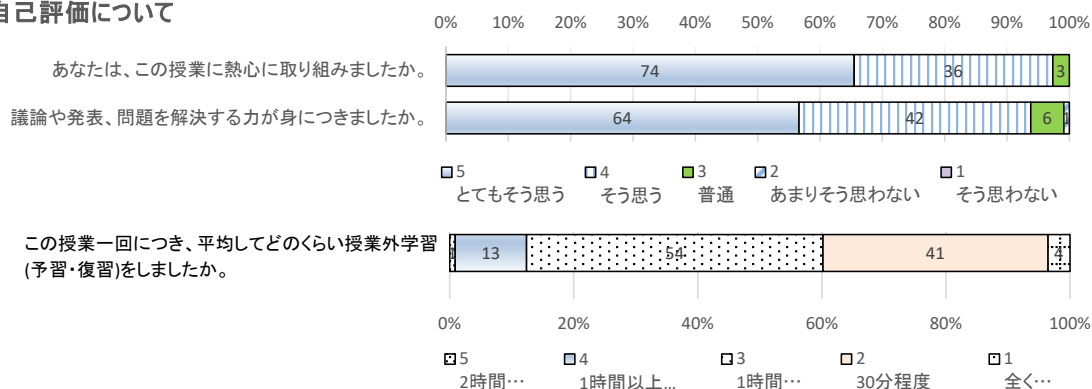
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	69	38	6	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	75	29	8	1	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	94	17	2	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	87	21	5	0	0	4.7
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	68	38	4	2	1	4.5
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	74	36	3	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	64	42	6	1	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	13	54	41	4	2.7

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

・30分間分の授業後課題レポートが、(他の科目との兼ね合いで)学生の負担になった部分は否めないが、ただその分授業外学習の取組や全体としての取組の充実感につながった部分はあったのではないかと。

②課題と展望(授業改善方策)

・全体の中では、領域「言葉」の分野に対する学びの深まり、充実感が他に比べて低いようだ。理論的な内容の中に、できるだけ具体的な事例を盛り込むなどの工夫が必要かと思われる。

科目コード: 1110

科目名 表現

回答者数:

86

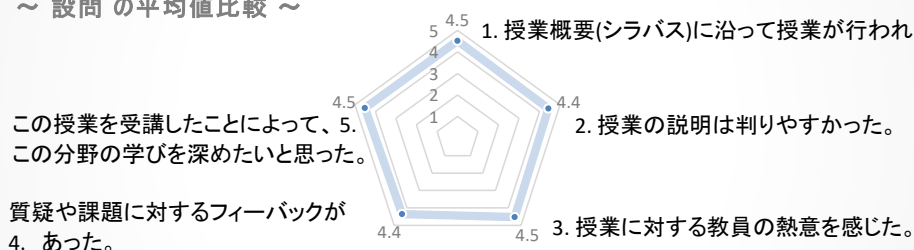
名

学科・学年: 幼1年 授業形態: 演習

担当者 古木竜太(他)

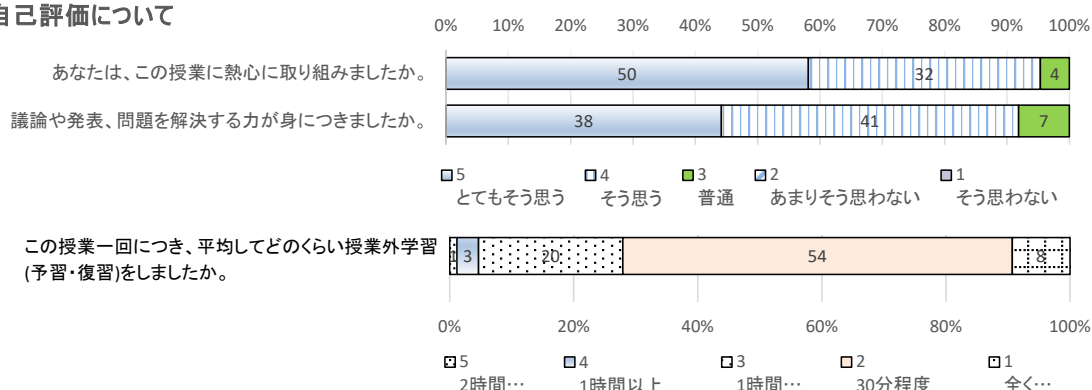
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	50	30	6	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	43	37	6	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	51	29	6	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	41	35	10	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	51	28	7	0	0	4.5
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	50	32	4	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	38	41	7	0	0	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	3	20	54	8	2.2

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

身体表現分野・音楽表現分野・造形表現分野の各担当教員3名が持ち回りで授業を担当した。昨年度は、緊急事態宣言に伴う遠隔授業(ポートフォリオ課題)が第1回～第7回まで行ったことから、3名の担当教員は専門分野に関して、対面授業を十分に行うことができなかった。しかし、今年度は、60分短縮授業であったがシラバス通りに授業を進めることができた。アンケート結果の総平均をみると4.5であることから、概ね高い評価が得られたものと振り返る。特に最終面接授業に行った実技試験では、手遊び、弾き歌い、ペープサートの実践を一生懸命取り組む学生の姿が見受けられ、制約が多い中でも実践的な学びを提供することができた。自由記述では、「子どもが積極的に表現出来るにはどのようにしたら良いかなど考え新たな知識を深めることが出来ました。」「子どもたちの前でどのように表現するか力を身につけるために基礎的なことを学ぶことが出来て、とても勉強になりました。子どもたちが楽しんで活動ができるように自分も楽しみながら表現をしていきたいと思いました。」などの記述があった。学生は表現に関する学びを深めることができたと推察する。

②課題と展望(授業改善方策)

本科目では、領域「表現」に関する基礎的な内容に重点を置く。昨年度に比べ、音楽表現、造形表現、身体表現の各分野について、シラバス通りに授業を展開することができた。加えて、1年次の後期には学生にとって、初めての実習(教育実習)が控えていることから、教育要領・保育指針の内容の理解を共に実習で活用できる実践的な学びをより多く授業に盛り込めるよう工夫したい。

科目コード: 1111

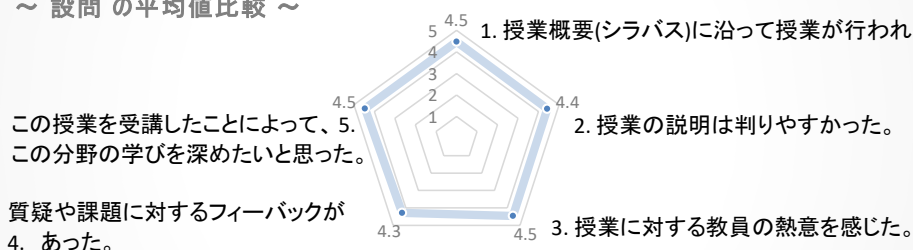
科目名 乳児保育 I

回答者数: 87 名

学科・学年: 幼1年 授業形態: 講義 担当者 小澤美鈴

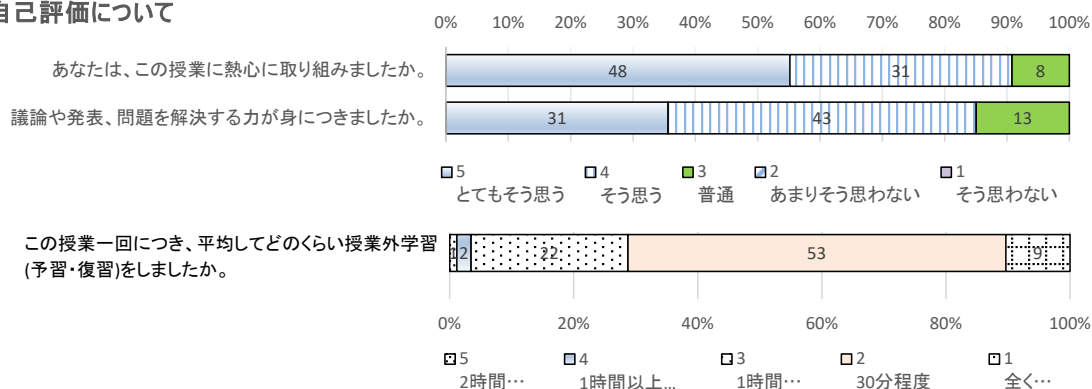
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	48	32	7	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	46	33	7	1	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	48	31	8	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	36	40	11	0	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	50	28	8	1	0	4.5
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	48	31	8	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	31	43	13	0	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	2	22	53	9	2.2

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

今年度の前期の授業は、対面にて行うことができ、対面授業の大切さを改めて感じる期間でもあった。コロナ関係にて欠席をする学生や教員の場合にも、学校側のご配慮により、昨年の経験を活かしオンライン対応をすることができ、学習に支障がでることなく進めていくことが出来た。また、学生の授業望む姿勢がとても熱心であり、授業課題について真剣に調べ、自身の考察をすることができていた。毎回の授業課題を設けていくことが、学生の学習意欲の向上にも繋がる結果となった。

②課題と展望(授業改善方策)

今年度の様に、課題提出を設け、授業の振り返りや、まとめを行い、学生の意欲を引出し、活かすことができるよう努めていきたいと考える。また、実習にもつなげていくことが出来るよう、実践に即した発表の機会を多く設けていきたい。

科目コード: 1112

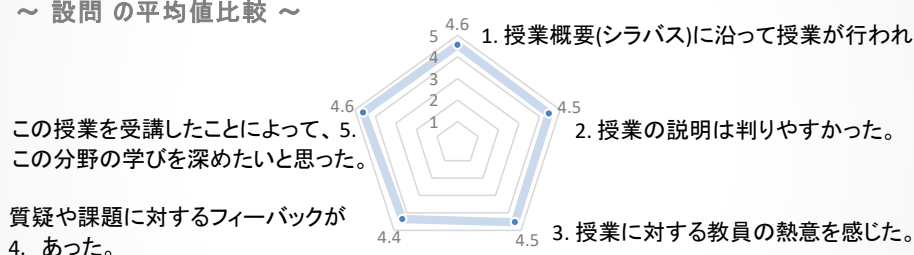
科目名 保育のピアノ基礎Ⅰ

回答者数: 87 名

学科・学年: 幼1年 授業形態: 演習 担当者 越智光輝(他)

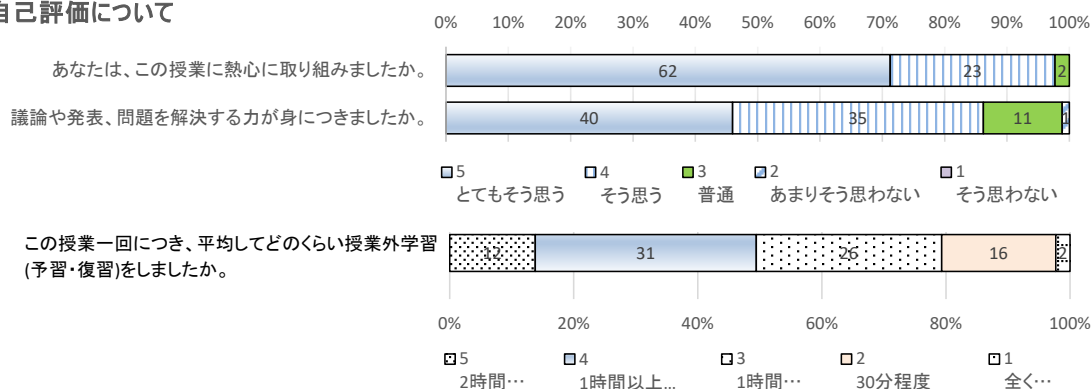
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	53	29	5	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	52	24	10	1	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	53	27	7	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	41	36	10	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	60	21	5	0	1	4.6
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	62	23	2	0	0	4.7
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	40	35	11	1	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	12	31	26	16	2	3.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

この授業ではピアノ曲(バイエル・ブルグミュラー等)及び子どもの歌の弾き歌いに取り組んでいる。

設問Ⅰの(1)～(5)の総平均は4.5ポイントであり、良好な結果と考えられる。設問Ⅱについても概ね良好な結果であるが、授業時間外学習が30分程度が16名、全くしていないが2名いた。

課題と展望(授業改善方策)

この授業の指導は、1クラスにつき3名の教員で指導を行っている。特にピアノ初心者について、教員間の情報共有を通じて、学生の抱える課題に応じた最善の指導が行えるよう、今後も取り組んでいく。

科目コード: 1113

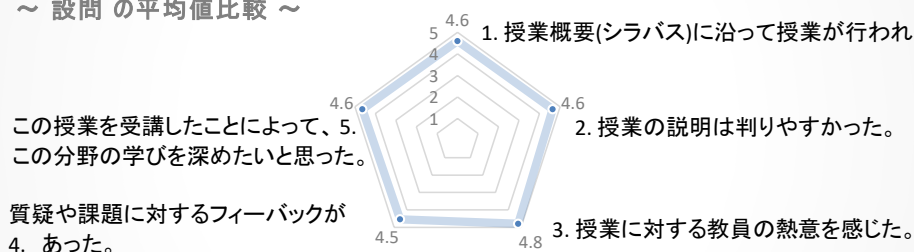
科目名 保育の造形 I

回答者数: 77 名

学科・学年: 幼1年 授業形態: 演習 担当者 山下佳香

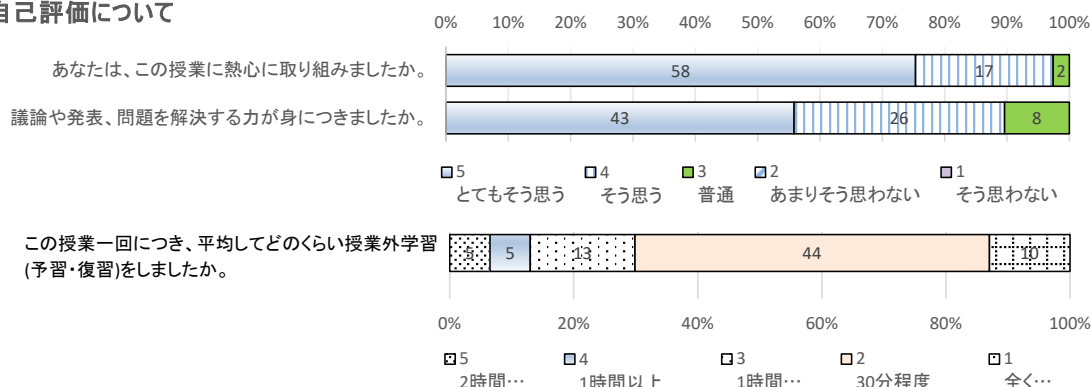
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	49	25	3	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	51	24	2	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	63	12	2	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	49	21	6	1	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	53	20	4	0	0	4.6
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	58	17	2	0	0	4.7
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	43	26	8	0	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	5	5	13	44	10	2.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

子どもの発想の面白さや表現方法の面白さを15回の授業で追究した。様々な画材方法を1回60分の授業で行うとなると、準備10分、片付け10分、内容は40分と短時間であったために、説明が早口になったり、作業時間が短く内容を深く掘り下げることや、視野を広げて考えるまでには至らなかった。前回の授業を振り返りからの繋がりでやっている授業内容の関連性まで理解に至らなかった学生も多く思われる。しかしながら、授業のまとめの『造形Book』を仕上げるために、30分課題として計画的に行っていた学生も見受けるが、全く行っていない学生もいるため、今後の課題の提示の仕方を考えたいと思う。

②課題と展望(授業改善方策)

今年度はシラバスの内容を再検討し、段階を追って表現の面白さや子どもの発想力や創造性の豊かさを、身をもって体験できるように内容を考えた。時間にゆとりを持って行えるように心掛けたが、授業終盤は焦ってしまった、慌ただしい最後になってしまったことを反省し、ゆとりをもって行う中で、授業のフィードバックや来週の授業に向けての準備も伝えられるように心掛けたいと思う。

科目コード: 1200

科目名 幼保2年 専門科目

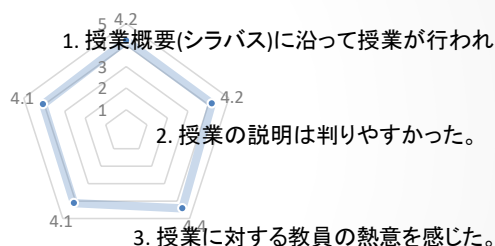
回答者数: 703 名

設問Ⅰ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	274	309	115	1	4	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	308	251	111	23	10	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	411	186	99	3	4	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	280	257	142	19	5	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	253	261	172	9	8	4.1
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～

この授業を受講したことによって、5.
この分野の学びを深めたいと思った。

質疑や課題に対するフィードバックが
4. あった。



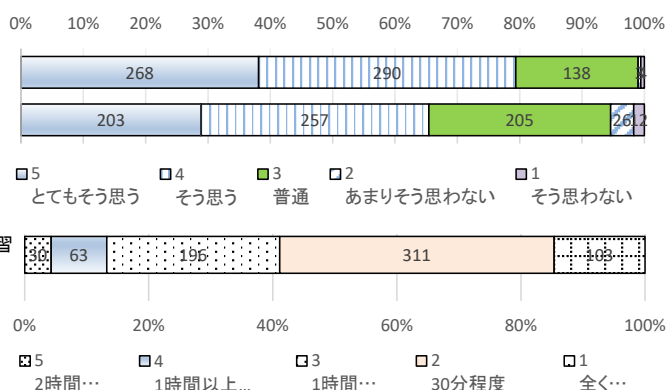
設問Ⅱ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	268	290	138	3	4	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	203	257	205	26	12	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	30	63	196	311	103	2.4

2. 学習に対する自己評価について

あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。

議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。

この授業一回につき、平均してどのくらい授業外学習
(予習・復習)をしましたか。



科目コード: 1201

科目名 社会的養護 I

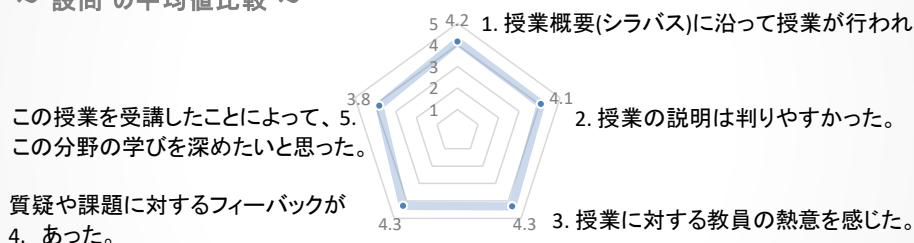
回答者数: 90 名

学科・学年: 幼2年 授業形態: 講義

担当者 田中久子

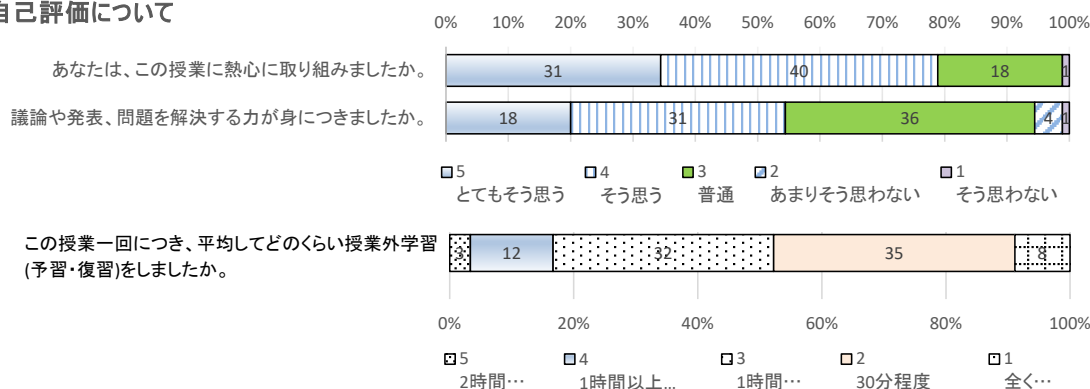
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	33	40	16	0	1	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	32	36	19	2	1	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	48	24	17	0	1	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	43	33	12	1	1	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	23	32	32	1	2	3.8
総平均							4.1

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	31	40	18	0	1	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	18	31	36	4	1	3.7
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	12	32	35	8	2.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

新型コロナ感染防止対策により、授業時間が短縮されたためレポート課題が多くなり、学生にはかなりの負担となったと思われる。在宅での学習の習慣がある学生は予習復習をし理解度も高い。しかし、設問Ⅱ(3)在宅外学習(予習復習)に「全くしていない」と「30分程度」と答えた学生が43名もいたことは、今後の対策が必要、と痛感した。

設問Ⅰ(4)の「質疑や課題に対するフィードバックがあったか」について。毎回「質問はあるか」とは聞いていたが、授業中の質問は殆どなかった。今後は、授業内で疑問点を明確化する、自分の意見を述べ他者との意見の相違を深める、自分の考えをまとめていける、等の工夫必要である。

②課題と展望(授業改善方策)

学習は、予習復習があつてこそ理解の定着が図られる。いかに時間外の学習に興味を持って取り組むことができるかが鍵である。課題は、学生にとって身近で馴染みやすい内容にする必要がある。課題に真摯に取り組むことで疑問や質問が生じるからである。

また、講師からの一方的な講義ではなく、学生が自ら課題をまとめて考察できる機会を授業内で設けたい。

科目コード: 1202

科目名 子ども家庭福祉

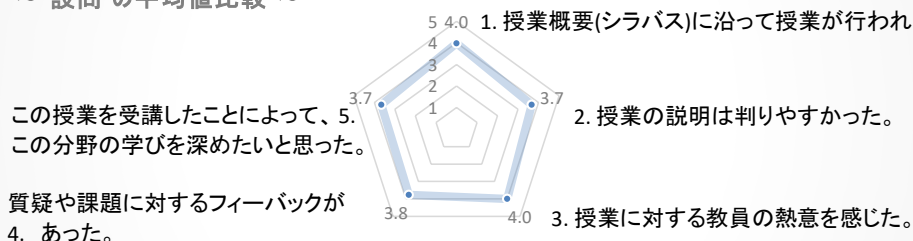
回答者数: 63 名

学科・学年: 幼2年 授業形態: 講義

担当者 佐野裕子

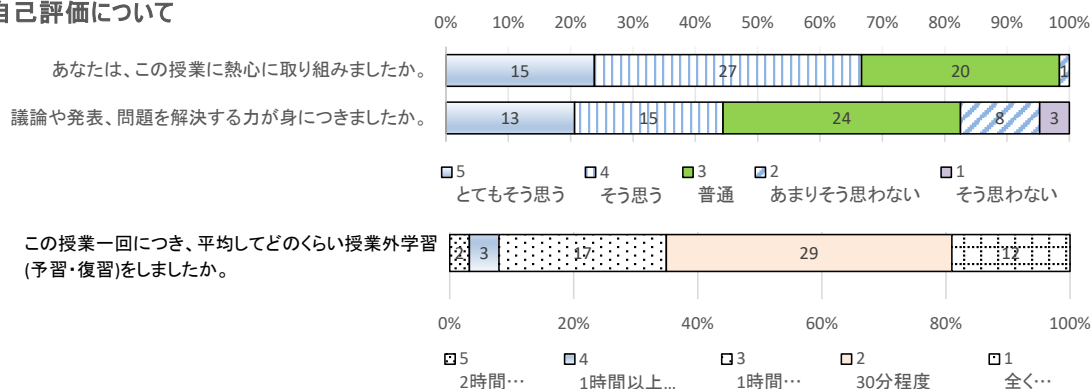
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	16	30	17	0	0	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	15	19	22	7	0	3.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	23	18	21	1	0	4.0
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	15	22	22	4	0	3.8
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	14	19	27	1	2	3.7
総平均							3.8

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	15	27	20	1	0	3.9
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	13	15	24	8	3	3.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	3	17	29	12	2.3

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

総平均が3.8であったが、分かりやすかったかについては、3.7であった。これは、全体集計平均4.2と比較すると0.5ポイントも低い。今年、対面授業ではあるものの、コロナ禍の中、感染防止を第1に授業を行ったことから、発言、特にディスカッションは皆無であった。ことから、学びを深めることができなかった。これは、「議論や発表、問題解決する力が身についたか」の設問にも影響していたと考える。

②課題と展望(授業改善方策)

①にも挙げたが、コロナ禍の中、感染防止を第1に授業を行うとすれば、ディスカッションや発表など厳しい。しかし、アクティブラーニングも念頭に考えると積極的な授業も計画したいところである。

今後の課題として、紙ベースでも構わないがディスカッションや発表などを積極的に取り入れ、調べ学習の発表の場を設けていき、授業の質を向上させたい。

科目コード: 1203

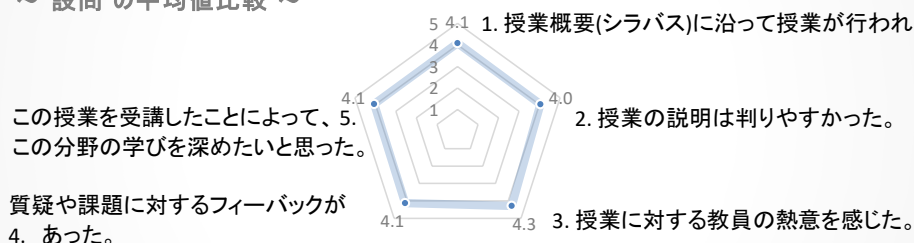
科目名 子ども理解

回答者数: 49 名

学科・学年: 幼2年 授業形態: 演習 担当者 高橋淳一郎

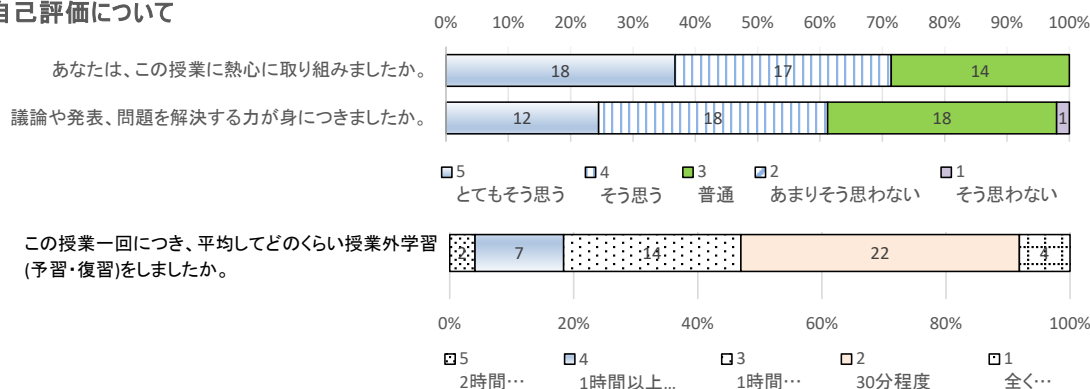
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	16	21	12	0	0	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	18	21	5	4	1	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	26	12	10	1	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	20	17	10	2	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	18	18	11	2	0	4.1
総平均							4.1

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	18	17	14	0	0	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	12	18	18	0	1	3.8
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	7	14	22	4	2.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

授業の説明については、あえて映像やパワーポイントなど視覚に訴える道具を使わずに授業を進めた結果であると考え。議論等の能力については新型コロナの影響で学生同士の話し合いが基本的にできなかったことが影響しているだろう。授業外学習については一部の学生はしっかりと予習復習をおこなって授業に臨んでいるが、多くの学生は30分課題のみで予習復習をしていないことが読み取れる。

②課題と展望(授業改善方策)

授業の説明について、安易にパワーポイントなどのツールを使用することは控えたい。学生にはしっかりと授業を聴いて理解し、自らのノートを作るという大学生として当たり前の能力を身につけてほしい。それができよう、教員としてはテキストの使用方法、予習の指示などを見直したい。学生同士の話し合いは、学生が多様な考えに触れて理解を促進する効果が期待できるので、コロナの状況も見ながらできるだけ取り入れていきたい。

科目コード: 1204

科目名 保育の計画と評価

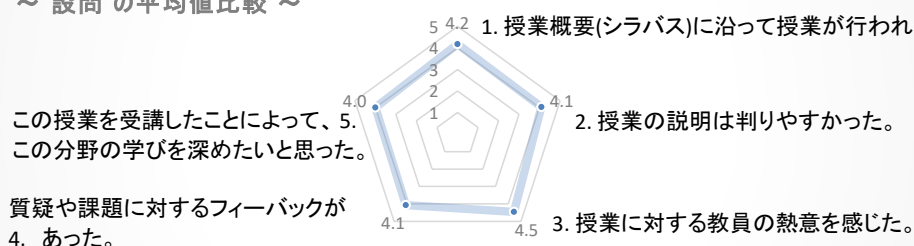
回答者数: 46 名

学科・学年: 幼2年 授業形態: 講義

担当者 牧野和江

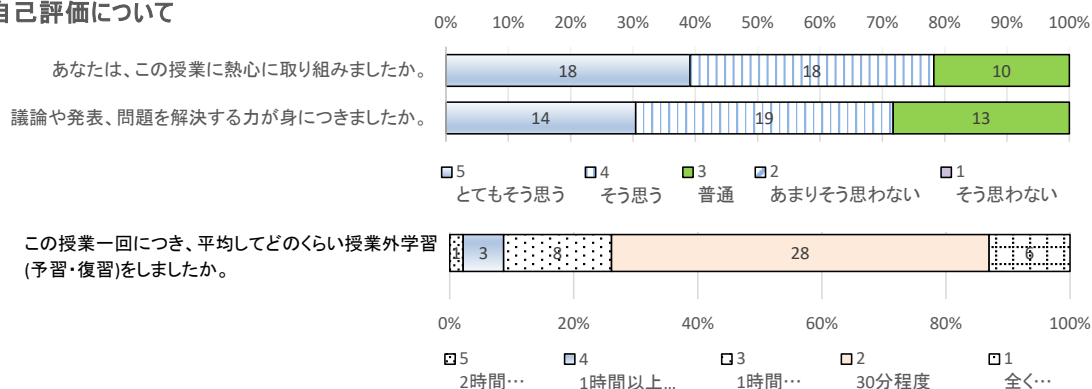
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	16	22	8	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	19	16	8	2	1	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	27	13	6	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	16	18	11	1	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	14	19	12	1	0	4.0
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	18	18	10	0	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	14	19	13	0	0	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	3	8	28	6	2.2

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

この教科は、実践で役立つものであり、教育課程、長期の指導計画、月、週、日案と掘り下げて学んでいかなければならない。授業内での指導案作成に対して、なかなか理解が伴わないこともあったことがこの結果となっていると考える。(ねらいと内容)授業課題を出しているがじっくりと取り組んでいないこともわかった。新型コロナ感染から学生同士(グループ)の学び合が できなかった。

②課題と展望(授業改善方策)

後期も新型コロナ対応の授業を進めざるを得ないと思います。主体的・対話的で深い学びが得られるよう、授業のさらなる工夫を行い、実践に役立つ指導案作成を丁寧に指導する。学生たちが自ら学習に取り組むよう課題の出し方を工夫する。

科目コード: 1205

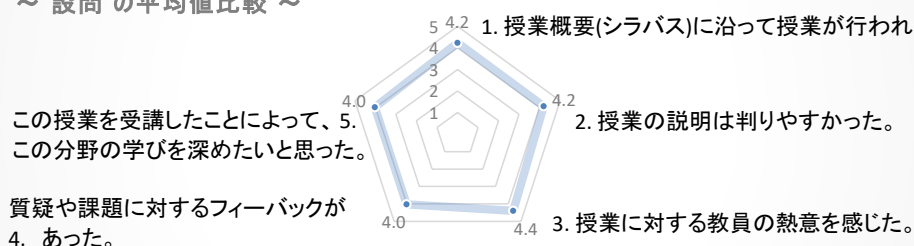
科目名 音楽表現領域指導法

回答者数: 106 名

学科・学年: 幼2年 授業形態: 演習 担当者 越智光輝

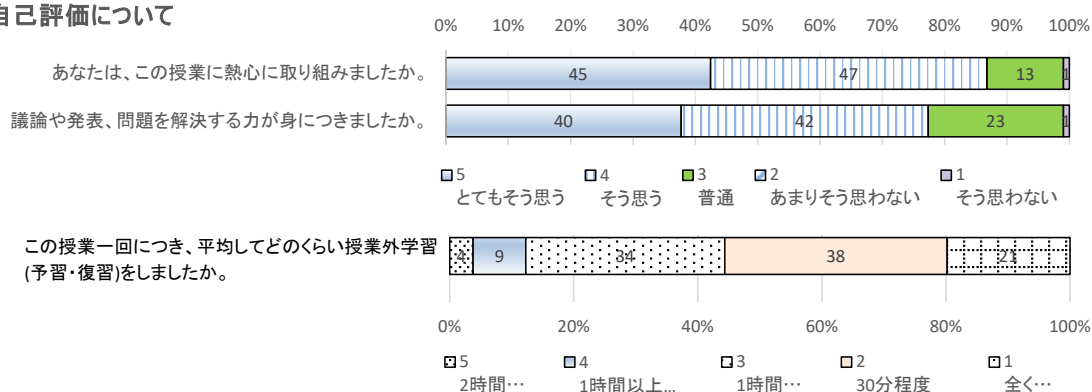
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	41	51	13	0	1	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	40	49	16	0	1	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	57	36	12	0	1	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	36	42	23	4	1	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	29	53	23	0	1	4.0
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	45	47	13	0	1	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	40	42	23	0	1	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	4	9	34	38	21	2.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

この授業は保育の現場における表現活動について学んでいる。

設問 I について(1)～(5)の平均は4.2ポイントであり、概ね良好な結果だと考えられる。

設問 II について(1)(2)の平均は、それぞれ4.3ポイント、4.1ポイントであり概ね良好な結果だと考えられる。(3)について全くしていない学生が21名いた。

②課題と展望(授業改善方策)

学生個々のレベルは様々である。今年度の授業を振り返り、授業の説明の際に用いる言葉の選び方、言葉がけやフィードバックのタイミング、課題の内容・難易度等について、学生の学びに向かう意欲を高められるよう、さらに検討を行う。

科目コード: 1206

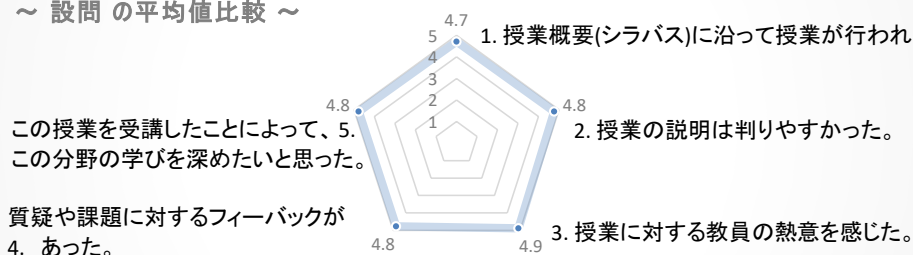
科目名 造形表現領域指導法

回答者数: 59 名

学科・学年: 幼2年 授業形態: 演習 担当者 山下佳香

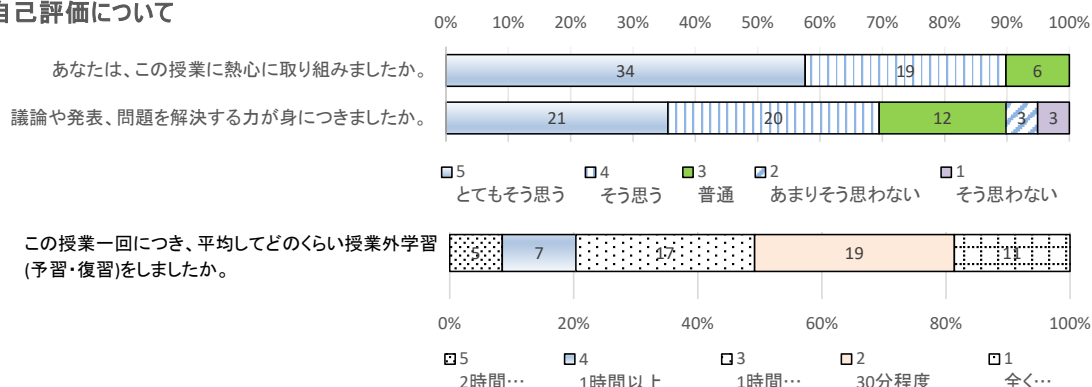
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	45	11	3	0	0	4.7
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	47	10	2	0	0	4.8
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	52	7	0	0	0	4.9
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	45	14	0	0	0	4.8
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	45	14	0	0	0	4.8
総平均							4.8

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	34	19	6	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	21	20	12	3	3	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	5	7	17	19	11	2.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

幼稚園教諭・保育士を目指すうえで、実習などで役立つ「12か月の製作遊び帳」を作成した。目的がはっきりしていたため、熱心に取り組むことに繋がったと考える。しかしながら、問題解決力にはまだまだ課題が残る。コロナ禍の中での授業であったため、議論や発表などはできるだけ控えたため、あまり効果的な方法を取ることができなかった。前期のまとめ「製作帳」作成にかなり時間をかけて完成させていたが、授業外学習の時間数を見ると、計画的に行っている学生が少ないことが伺える。

②課題と展望(授業改善方策)

今回、受講学生数が130であるにも関わらず、アンケート回答者は59名とは信頼性には欠ける結果となっている。そのため、来学期はアンケートを記入時は、必ず全員入力することを心掛けたい。また60分間の授業のため、内容をしっかり絞って要点を抑え焦って授業を行わないようにしたい。問題解決能力は幼稚園教諭・保育士に必要なため、授業の形態に合わせて色々な方法で行えるように考えていきたい。

科目コード: 1207

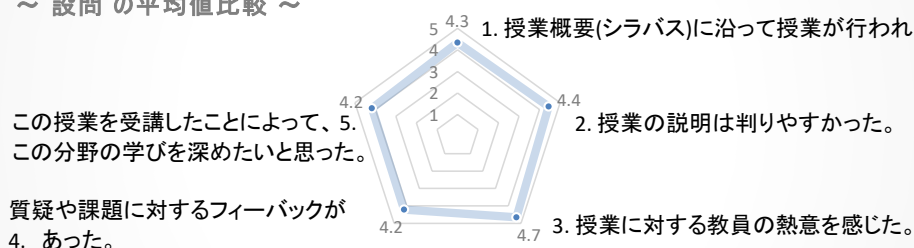
科目名 身体表現領域指導法

回答者数: 66 名

学科・学年: 幼2年 授業形態: 演習 担当者 古木竜太

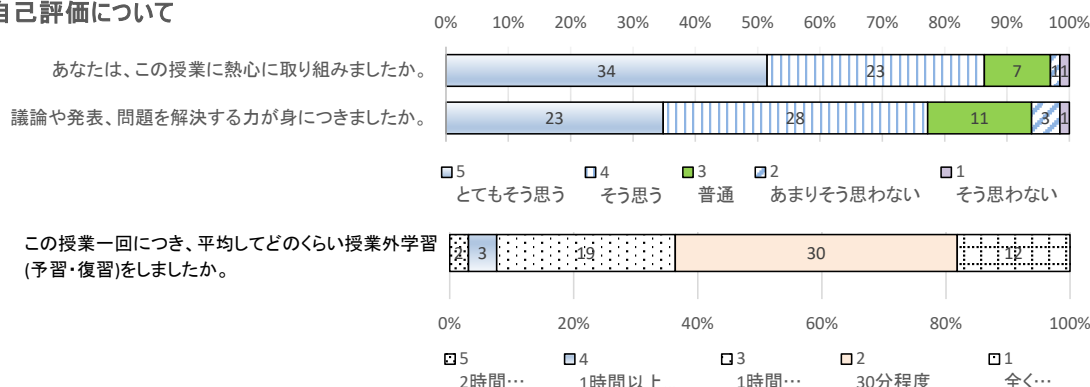
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	32	26	7	0	1	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	38	21	6	0	1	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	49	13	3	0	1	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	29	24	12	0	1	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	31	19	14	0	2	4.2
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	34	23	7	1	1	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	23	28	11	3	1	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	3	19	30	12	2.3

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

昨年度は緊急事態宣言に伴う、遠隔授業(ポートフォリオの課題授業)を第1回～7回まで行ったことから、シラバスに示すような実技授業が実施できなかった。しかし、今年度は第3回～15回まで60分の短縮授業でありながら、シラバス通りの授業内容を展開することが、旧名の「保育内容身体表現」が「身体表現領域指導法」になり、事実上、初めて15回の実技授業を行うことができた。本科目は各回ごとに実技試験、実技試験のための練習という流れで授業を行った。学生は真剣に取り組み、自他のパフォーマンスを「30分課題レポート」で振り返ることで、学びを深めていた。その「30分課題レポート」により、学生の理解度を知ることができた。アンケート結果の総平均は4.4を示していることから、概ね高い評価を得ることができたと振り返る。自由記述では、「沢山体を動かしたり、音に合わせて体を動かしたり、色々な人の表現方法を見て学んだり、パラバルーンなどで協力して行ったり様々な体験ができて良かった」「とても楽しく授業を受けることが出来ました。体を動かすことが出来て良かったです。パラバルーンなどの体験もでき楽しかったです!」など、表現方法に関する気づきや楽しみながら学べたという記述内容があった。これらを踏まえると、本科目の到達目標が達成され、学生にとって有意義な授業を行うことができたと判断する。

②課題と展望(授業改善策)

コロナ禍前と比べ、制限させることが多い中で、手袋の着用やディスタンスをとること、新聞紙を互いに持ちながら手をつなぐ表現に見立てたことなど、工夫して授業を行うことができた。今後も授業内容の工夫と検討を重ねながら、学生が有意義に身体を動かし、運動・スポーツの大切さについて深く学ぶ授業を目指して努力したい。

科目コード: 1208

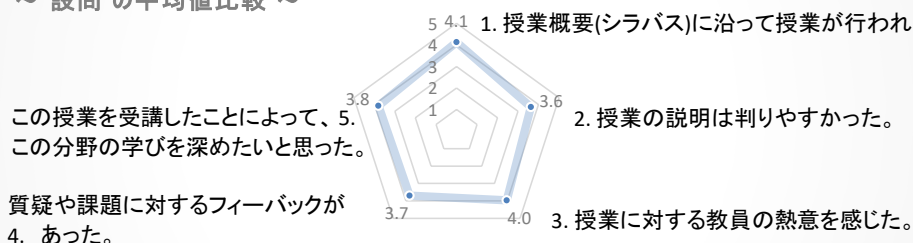
科目名 人間関係領域指導法

回答者数: 56 名

学科・学年: 幼2年 授業形態: 演習 担当者 岡澤陽子

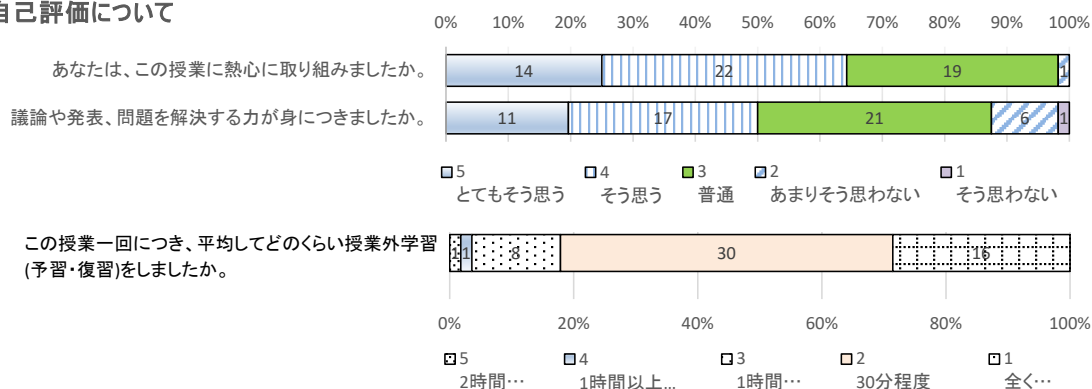
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	20	23	13	0	0	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	14	18	16	5	3	3.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	16	23	16	1	0	4.0
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	14	18	18	5	1	3.7
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	16	16	21	3	0	3.8
総平均							3.8

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	14	22	19	1	0	3.9
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	11	17	21	6	1	3.6
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	1	8	30	16	1.9

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

今回、初めてこちらで授業をさせていただきました。学生たちの率直な意見を今後の参考にしていきたいと思います。

②課題と展望(授業改善方策)

科目コード: 1209

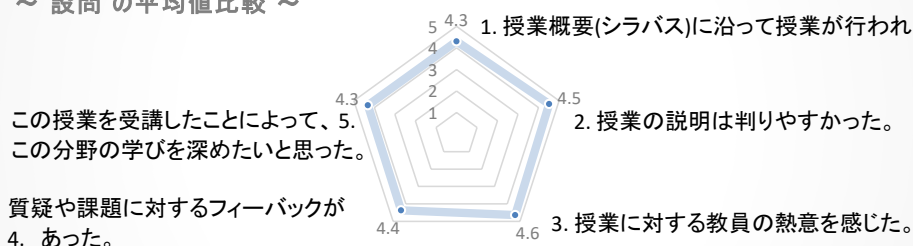
科目名 特別支援保育Ⅱ

回答者数: 132 名

学科・学年: 幼2年 授業形態: 演習 担当者 加藤隆芳

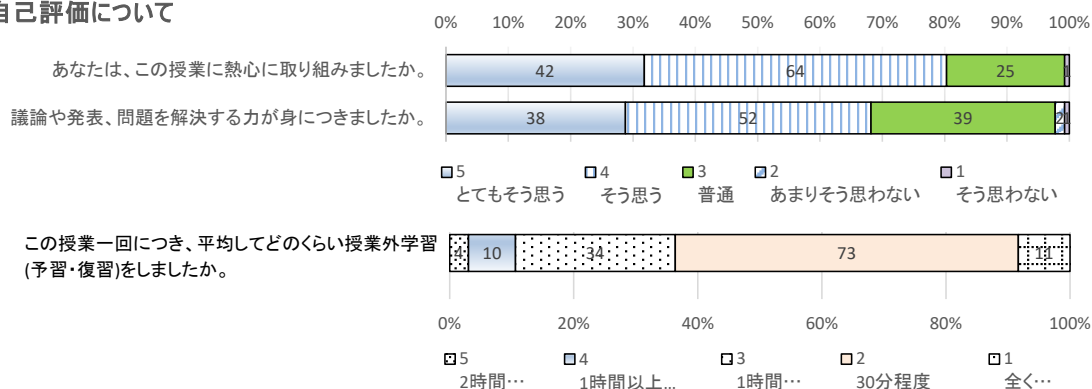
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	58	58	15	0	1	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	79	45	6	1	1	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	93	32	6	0	1	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	65	53	13	0	1	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	62	52	17	0	1	4.3
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	42	64	25	0	1	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	38	52	39	2	1	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	4	10	34	73	11	2.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

事例・ケースの検討を積極的に取り扱ったため、学生自身がよく考えて保育に係る計画を立案することができた。また、現職保育士・教員による教材、補助具・自助具を全国データベースを閲覧し、参考することで、イメージをもって取り組むことができた。

②課題と展望(授業改善方策)

事例・ケース検討に係る準備を十分に取らずに思いつきで報告する様子が一部みられた。保育実習や教育実習で出会った学習上又は生活上の困難がある子どもを具体的にイメージさせる工夫が必要といえる。また、ケース検討を通じ、学習上又は生活上の困難がある子どもの療育に関心をもち、進路を検討している旨を相談する学生が複数おり、より具体的に考えさせる指導の工夫について検討が必要ともいえる。

科目コード: 1210

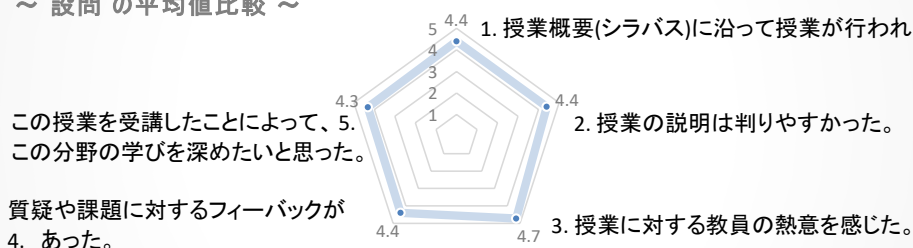
科目名 保育のピアノ応用 I

回答者数: 25 名

学科・学年: 幼2年 授業形態: 演習 担当者 山田真澄(他)

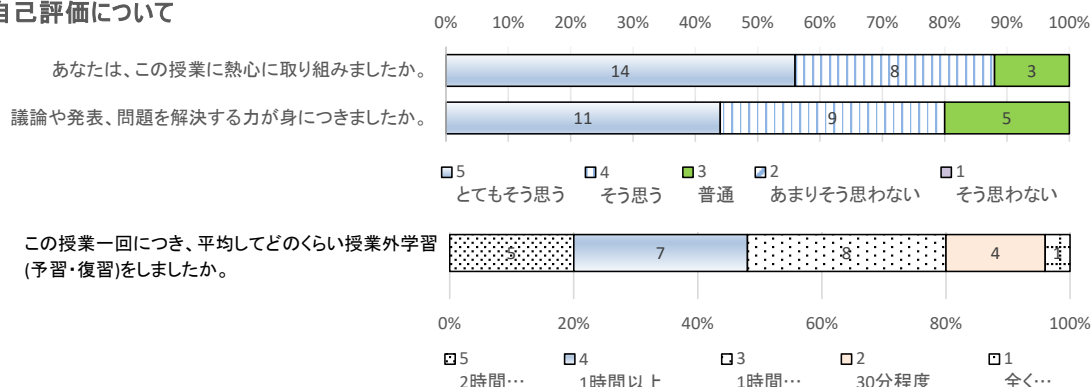
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	14	7	4	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	15	6	3	1	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	20	3	2	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	16	4	4	1	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	13	8	3	1	0	4.3
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	14	8	3	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	11	9	5	0	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	5	7	8	4	1	3.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

コロナ禍でのレッスンは、60分の個人レッスンとレポートという形で進めたが、学生の多くはこの授業の必要性を感じて選択しているの
で、まじめに取り組み、授業内容に満足していると感じた。
特に毎回の授業後のレポート提出が、授業で新たに何を学習したのか、それをどのように次のレッスンにつなげるか等、授業を振り返る
時間となり、それが習慣化したことで、何度も同じ注意をするということが減り、指導の効率化が図れたのではないかと感じている。
設問Ⅱの授業時間外学習では、2時間以上の練習をして臨んだという学生も多くいることを確認できたことが収穫であった。一方、時間
外学習が足りない学生については、授業でアドバイスを受けてからの自宅学習が本当のレベルアップになることや、時間外学習の時間も
含めた単位であること等、繰り返し声掛けを行っていく必要があることを再認識した。

②課題と展望(授業改善方策)

今後もコロナウィルス感染予防に気を配りながらの授業運営が継続すると思われる。
昨年度は、オンラインによる授業等で細かいニュアンスが伝わりづらく、モチベーションを保つのが難しかった学生もいたかもしれないが、
今学期は、毎週全員の学生に接して授業することができ、レベルを保つ上でとても有効であったと思う。しかし授業の短縮により対面レッ
スの時間が少なくなっている現状では、なお一層工夫をして、効率的な指導を心がけていきたい。

科目コード: 1211

科目名 食育論

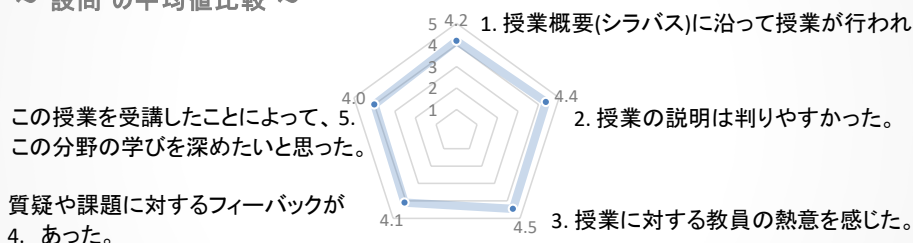
回答者数: 11 名

学科・学年: 幼2年 授業形態: 講義

担当者 大野智子

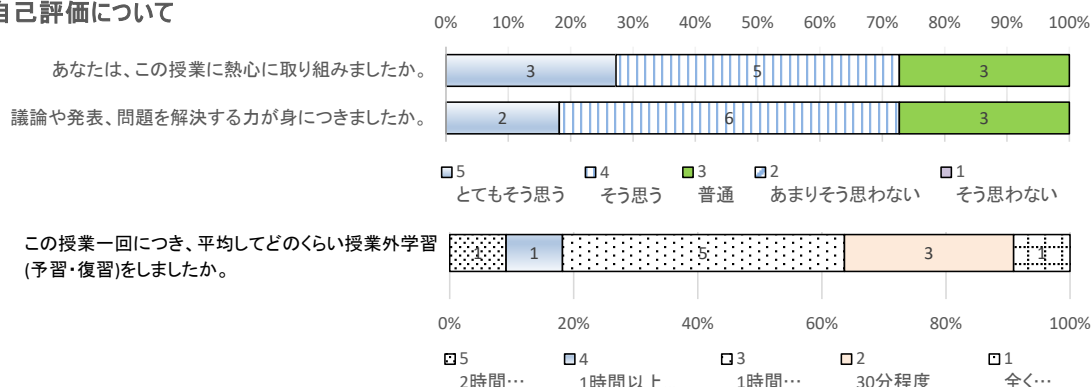
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	3	7	1	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	5	5	1	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	6	4	1	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	4	4	3	0	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	3	5	3	0	0	4.0
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	3	5	3	0	0	4.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	2	6	3	0	0	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	1	5	3	1	2.8

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

アンケートの回答者数を見てみると29名中11名の回答でしたので、37.9%と半数を満たさず、とても残念な結果であった。選択科目の為、興味関心のある学生が集まってくれていると思ったが、授業に対して消極的な学生も見られた。回答された学生は、熱心に授業にも取り組んでいたものと考えられる。回答しなかった学生約6割強の学生は、授業中も意欲に欠け、私語も多く、再三注意等をし指導した。次回は今回の結果を真摯に受け止め、履修した全学生が、興味関心を持てる授業にしていきたい。

②課題と展望(授業改善方針)

幼児教育における食育は、とても大切なことで望ましい食習慣にもつながると考える。健全な心、豊かな心を育てるためにも、食育は大事なことで、日々の食事がいかに大事であるかを、伝えていきたい。コロナの関係もあったので、ディスカッションの時間は設けなかったが、授業に集中できるよう、PowerPointだけでなく、媒体等もさらに使っていきたいと考えている。